

日本語非母語話者児童用文字教材開発のための語彙調査

安藤 淑子

What vocabulary is necessary: Development Japanese textbook for non-native children who study Japanese character for the first time

ANDO Yoshiko

Abstract

As Agency for Cultural Affairs commission, we made a text of the Japanese letter and vocabulary for non-native Japanese children, titled "Miru Asobu Nihongo" in 2006. This paper is the result of basic research into children's vocabulary for the textbook.

キーワード：児童 語彙 未就学 日本語教材

Key words : children, vocabulary, preschool, Japanese textbook

1. はじめに

本稿は、平成 18 年度文化庁委嘱事業「日本語を母語としない児童のための文字・語彙教材開発」のための基礎調査の一部である。

今回開発された教材（『みる あそぶ にほんご』ポルトガル語・スペイン語・英語版及び、中国語・韓国語版 2007 南アルプス市発行）は、低年齢の児童を学習対象としたものであるため、調査は、就学前の日本語母語話者用の文字教材を対象とした。母語話者用教材を選んだのは現在、日本語を母語としない低年齢の児童に対する文字・語彙教材は、もっぱら日本語母語話者用の教材に頼らざるを得ないという現状があるからである¹⁾。

日本語教育におけるいわゆる「子ども用」文字教材は、対象とする子どもの年齢の幅が広く（小～中学校²⁾、中～高等学校³⁾）、また一部は対象年齢が特定されていない⁴⁾。一方、小学校入学前の児童を対象とした日本語母語話者用教材は、年齢の刻みが細かく、レイアウトやデザイン、カラー印刷による見易さ、低年齢児童の興味関心に合っ

た語彙選択など多くの点で優れている。

しかし一方で、日本語母語話者用教材を文化や社会的背景の異なる児童に対して用いることからくる課題も見られた。

2. 日本語母語話者児童用文字教材の語彙調査

2-1 調査の目的

「ひらがな」を、具体的な語彙とともに学ぶ日本語教材というコンセプトに基づき、語彙選定のための調査を行った。

2-2 調査対象

市販の児童用ひらがな文字練習教材のうち、2 歳から 6 歳までの対象年齢が明記されたものを調査対象とした。

教材には、「2 歳～4 歳」のように幅のあるものから、「4 歳」のように特定の年齢に限定したものが見られたが、本稿では上限年齢を取って、(1)4 歳までの教材、(2)5 歳までの教材、(3)6 歳までの教材の 3 種に分類した。

2-3 調査方法

教材中に採択された語彙を上記年齢別に集計し、頻度順の並べ替えを行った。なお、同一教材中に筆記練習等で複数回出現した語彙も当該教材中の語彙としては1語とした。

2-4 調査結果

2-4-1 語彙数と語彙の種類

調査した教材は、年齢別に6種ずつ計18種で

ある。年齢別教材の語彙数を表1に示す。どの年齢層の教材も語彙の大半は名詞である。

次に、各教材に出現した頻度3（6種の教材中3種に出現）までの語彙を表2、表3、表4に示す。

表5は、年齢別の教材に見られる頻度上位語彙全体が各年齢別の教材の頻度上位語彙をどの程度カバーしているかを示したものである。年齢が上

表1 年齢別文字教材の語彙数及び名詞の割合

教材	延べ語数	異なり語数 (1教材平均)	異 / 延	名詞率
4歳までの教材	281語	163語 (約 27語)	0.58	99.3%
5歳までの教材	714語	382語 (約 64語)	0.54	98.9%
6歳までの教材	1152語	610語 (約 102語)	0.53	98.6%

表2 4歳までの文字教材に見られる頻度上位語彙

語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度
しか	6	さる	4	くり	3	みかん	3
て	6	そら	4	せみ	3	みみ	3
くつ	5	のり	4	つき	3	め(目)	3
いぬ	4	へび	4	とけい	3		
うし	4	うま	3	ぬりえ	3		
こま	4	えほん	3	ひよこ	3		

表3 5歳までの文字教材に見られる頻度上位語彙

語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度
きりん	6	ふね	5	かば	4	いす	3	ぞう	3	はな(鼻)	3
たぬき	6	へび	5	こま	4	いるか	3	そうじき	3	ひまわり	3
なす	6	ほし	5	さる	4	おにぎり	3	たこ(蛸)	3	ふうせん	3
ねこ	6	めだか	5	て	4	かぶとむし	3	だちょう	3	ほん	3
みかん	6	もぐら	5	とけい	4	きって	3	たまねぎ	3	まど	3
あり	5	もも	5	とら	4	きつね	3	たんぼぼ	3	みみ	3
いぬ	5	ようふく	5	とんぼ	4	きゅうり	3	ちず	3	むしめがね	3
うさぎ	5	らくだ	5	にわとり	4	きんぎょ	3	ちょうちょう	3	めがね	3
かさ	5	りす	5	のり(糊)	4	くつ	3	つき	3	やぎ	3
くま	5	りんご	5	ひつじ	4	くり	3	てんとうむし	3	やま	3
しか	5	わに	5	へそ	4	けいと	3	ながぐつ	3	れいぞうこ	3
すいか	5	いちご	4	まくら	4	けむし	3	なべ	3		
せみ	5	うし	4	やかん	4	さい	3	なわとび	3		
にんじん	5	えんぴつ	4	ゆきだるま	4	さかな	3	ぬいぐるみ	3		
ぬりえ	5	かえる	4	れんこん	4	しまうま	3	ねずみ	3		
はさみ	5	かに	4	ろうそく	4	すずめ	3	はな(花)	3		

表4 6歳までの文字教材に見られる頻度上位語彙

語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度	語彙	頻度
さる	6	りんご	5	てがみ	4	おかあさん	3	じてんしゃ	3	のりまき	3
すずめ	6	れいぞうこ	5	とんぼ	4	おもちゃ	3	しまうま	3	は(歯)	3
ふね	6	わに	5	なべ	4	おりがみ	3	しょうぼうしゃ	3	はさみ	3
ほん	6	あめ(飴)	4	ねずみ	4	かお	3	しょうゆ	3	はち(蜂)	3
みかん	6	うさぎ	4	ひこうき	4	かぎ	3	せっけん	3	はと	3
やかん	6	うし	4	ひまわり	4	かざぐるま	3	せんべい	3	はなび	3
ゆき	6	えび	4	ひも	4	かぜ(風)	3	そり	3	ひ(火)	3
よる	6	えほん	4	ぶどう	4	がっこう	3	たいこ	3	ひよこ	3
らっぱ	6	えんぴつ	4	へび	4	かめ	3	たこ(蛸)	3	ふうせん	3
あひる	5	かえる	4	ぼうし	4	きゅうり	3	たたみ	3	ふえ	3
あめ(雨)	5	かさ	4	もっくん	4	ぎょうざ	3	つき	3	ふく	3
おに	5	かに	4	やま	4	きょうりゅう	3	つの	3	ふぐ	3
かき	5	からす	4	ようふく	4	きんぎょ	3	つる	3	へい	3
きつね	5	きって	4	りす	4	くぎ	3	て	3	へちま	3
きりん	5	ぎゅうにゅう	4	ろうそく	4	くるま	3	てら	3	まくら	3
すいか	5	くじら	4	ろば	4	くわがたむし	3	てんとうむし	3	みみ	3
せみ	5	くつ	4	いか	3	けいと	3	とうふ	3	めがね	3
たんぼぼ	5	くり	4	いぬ	3	こいのぼり	3	どうぶつえん	3	めだか	3
とけい	5	こま	4	いるか	3	こうえん	3	とら	3	めだまやき	3
ねこ	5	せんぶうき	4	うた	3	ごはん	3	なし	3	もち	3
ほうき	5	ぞう	4	うどん	3	さくらんぼ	3	なす	3	やぎ	3
ほし	5	そら	4	うま	3	さら	3	なっとう	3	らっこ	3
まど	5	たぬき	4	うみ	3	さんりんしゃ	3	にんじん	3	れんこん	3
もも	5	ちず	4	えき	3	しか	3	ぬりえ	3		
らくだ	5	つくし	4	えのぐ	3	しっぽ	3	のり(糊)	3		

がるにつれて教材の語彙数は増大する(表1)が、その際下位年齢の教材に出現した語彙の多くをカバーしていることがわかる。

各教材に見られる語彙の領域別の割合を頻度3までの語彙について調査したものが図1である。

いずれの年齢においても生物(動物・鳥・昆虫を含む)に関する語彙が多く、児童の興味・関心の所在がこの領域にあることを示している。一方で、6歳までの教材の語彙領域においては、いずれの領域にも含まれない「その他」の語彙が増加しており、年齢が上がるにつれて語彙の種類も多様化していることがわかる。

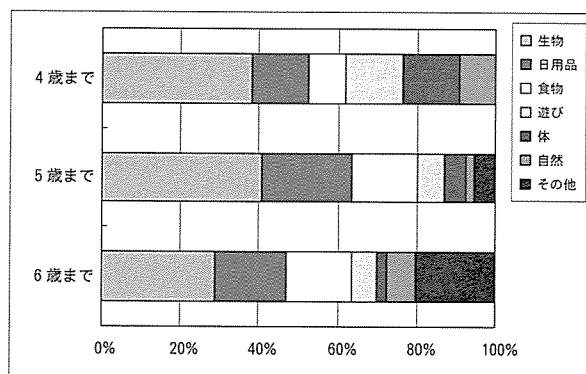


図1 文字教材に見られる領域割合

表5 頻度上位(頻度4)の語彙数と教材相互の語彙カバー率

	4歳までの教材	5歳までの教材	6歳までの教材
語彙数	10語	48語	66語
頻度上位語彙カバー率	100%	60.4%	42.4%

2-4-2 領域別語彙の上位概念語

次に領域別語彙に見られる上位概念語と下位概念語の出現状況を概観する。表6は、年齢別教材に見られた語彙の割合である。

上位概念語彙の出現は、教材の対象年齢が高くなるほど増加する。上位概念語彙の優先順位の高いものとして、「とり」「むし」「さかな」「はな」があり、以下、年齢が上がるごとに「やさい」「くだもの」が付加される(表7)。

いずれの年齢を対象とした教材においても、〔動物〕領域の上位カテゴリー語彙である「どうぶつ」は見られなかった。この領域は語彙数が最も多く、頻度中位までに占める語彙数の割合がきわめて高い(5、6歳までの教材で約6~7割)。

2-4-3 文字教材に見られる文化的・社会的な背景を持つ語彙

日本語を母語としない児童にとってもっとも学習しにくい語彙は、日本の文化・社会的背景を色濃く有する語彙群であると思われる。今回調査したすべての教材に見られた文化・社会的背景を持つ

と思われる語彙は表8のようなものであった。

また、表記以外にも、子どもに人気のある漫画のキャラクターの名称、童話の登場人物の名称(「白雪姫」、「シンデレラ」「赤ずきんちゃん」など)を用いた教材がいくつか見られた。

さらに、表には取り上げなかったが、「鹿」「狸」「桜」「蝉」など日本の自然の中では親しい動植物・昆虫の名称の中には、外国から来た子供たちにはなじみの薄いものも含まれていると考えられる。

2-4-4 属性・部分等を表す語彙

次に、属性や部分を表す語彙の出現状況について概観する。表中括弧内に数字は、「4歳までの教材」、「5歳までの教材」、「6歳までの教材」の3種の内、1種に出現したものを(1)、2種に出現したものを(2)、3種のいずれにも出現したものを(3)と記した。

表9のように部分名称として最も多く出現した語彙は、体に関するものである(「耳」「目」「口」「鼻」など)。

そのほか部屋の名称、植物の部分に関する名称、

表6 年齢別・語彙領域別割合

語彙領域	4歳までの教材	5歳までの教材	6歳までの教材
〔動物〕	17 (29%)	30 (67%)	32 (59%)
〔鳥〕	8 (13%)	16 (19%)	20 (30%)
〔虫〕	7 (14%)	14 (50%)	16 (31%)
〔果物〕	5 (20%)	11 (45%)	15 (33%)
〔野菜〕	3 (0%)	18 (28%)	20 (20%)
〔魚〕	2 (0%)	8 (25%)	11 (27%)
〔花〕	2 (0%)	10 (20%)	14 (14%)

表7 年齢別・領域別上位概念語彙の出現

語彙領域	4歳までの教材	5歳までの教材	6歳までの教材
〔動物〕	—	—	—
〔鳥〕	「とり」(1)	「とり」(1)	「とり」(2)
〔虫〕	「むし」(2)	「むし」(1)	「むし」(2)
〔果物〕	—	—	「くだもの」(1)
〔野菜〕	—	「やさい」(1)	「やさい」(1)
〔魚〕	「さかな」(2)	「さかな」(3)	「さかな」(2)
〔花〕	「はな」(1)	「はな」(3)	「はな」(1)

* () 内は出現頻度

表8 文字教材に見られる文化的背景を持つ語彙

食 物	みかん、おにぎり、海苔巻き、ごぼう、こんにゃく、しいたけ、しょうゆ、そば、ちくわ、天ぷら、納豆、筍、大根、土筆、うどん、ごはん、せんべい、豆腐、餅、蓮根、寿司、雑煮、団子、焼きそば、羊羹、いくら、おでん、柏餅、きんとん、銀杏、コロケ、ざる蕎麦、生姜、たこ焼き、海苔、味噌汁
日用品・家具	団扇、布団、炬燵、筆筒、茶碗、着物、筆、浴衣、押入れ、お椀、座布団、障子、簾、草履、そろばん、暖簾、箸、畳、湯のみ茶碗
遊び・行事	折り紙、ひょっとこ、にらめっこ、こいのぼり、おはじき、お正月、お月見、門松、下駄、こどもの日、七五三、十五夜、将棋、節分、竹馬、七夕、千歳あめ、花見、羽根つき、雛あられ、ひな祭り、やじろべえ
そ の 他	浦島太郎、天狗、桃太郎、鬼、竜宮城、乙姫様、お相撲さん、土俵、ちゃんまげ、忍者、横綱、河童、お経、兜、鎧、刀、琴、三味線、相撲、寺、こけし、だるま

動物の体の一部の名称（「しっぽ」、「つの」、「はね」）などが見られた。

色彩や形状を現す抽象的な語彙は5歳以上の教材から現れ、多くの場合6歳以上の教材のみに見られた。

表10に見られる、複合的な語彙、学校に関する語彙はほとんどが6歳以上の教材にのみ見られた。

3. まとめ

低年齢の児童用文字教材は、採択される語彙数、上位概念語彙の出現状況に年齢による差が見られる。

今回調査した教材の共通点は、生き物の名称や日常生活に密接に関わる物品の名称の扱いである。一方で、日常的な語彙には日本の文化や社会的な習慣に関係したものが多く見られた。

本調査の結果は、日本語を母語としない低年齢

表9 属性・部分を表す語彙

体	耳(3)、足(2)、へそ(3)、手(3)、鼻(3)、目(3)、指(2)、顔(3)、歯(3)、ひげ(2)、ほっぺた(頬)(2)、骨(2)、口(3)、腰(1)、背中(背)(3)、まゆげ(1)、胸(2)、頭(1)、爪(2)、おなか(腹)(1)、肩(1)、髪の毛(1)、血(1)
動物・鳥	しっぽ(2)、つの(1)、羽(2)、ひづめ(1)
植 物	はっぱ(葉)(2)、ねっこ(根)(3)、花(2)、このは(1)、落ち葉(1)、種(1)、穂(1)、芽(1)
家	廊下(1)、窓(2)、便所(トイレ)(2)、風呂(3)、屋根(2)、えんとつ(1)、塀(1)、庭(1)、手すり(1)、部屋(1)、床(1)
も の	取っ手(2)、蓋(2)、襟(1)
色・形状	黒(2)、青(1)、赤(2)、黄色(2)、白(2)、緑(1)、茶(1)、紫(1)、橙(1)、四角(1)

表10 指示詞・位置詞・数詞ほか

指示詞・位置詞・代名詞	わたし(1)、上(1)、後ろ(1)、そば(1)、中(1)、左(1)、前(1)、右(1)、隣(1)
学 校	学校(2) 遠足(1)、先生(1)、一年生(1)
複 合 名 詞	こ・ねこ(1)
抽 象 名 詞	4(1)、歌(1)、夢(1)、秋(1)、外国(1)、世界(1)、力(1)、匂い(1)、百円(1)

児童のための教材開発の基礎資料として活用できる。今後は、日本の文化や社会的な背景を持たない児童にも学びやすい、それぞれの年齢に対応した日本語教材の開発が待たれるところである。

【注】

- 1) 山梨県内の保育園等における文字指導に関する調査(2007年)結果によると、回答のあった43施設中、日本語非母語話者児童にも文字指導を行っていると答えた15施設において使用している教材はすべて日本人児童用の市販教材であった。
- 2) 『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』財団法人波多野ファミリースクール大野守久著(凡人社)
- 3) 『JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE1 Kana Workbook』Association for Japanese-Language Teaching(講談社インターナショナル)
- 4) 『日本語の教え方 スーパーキット3』ひらがな練習帳、ひらがな文字カードほか(凡人社)、『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかた・かんじれんしゅうちょう』根本牧、屋代瑛子(凡人社)、『やさしいにほんご 入門』加州日本語学園協会(成美堂)など

【調査文献】

・日本語母語話者用教材

- 1) 『6歳 もじ・ことば』学習研究社
- 2) 『6歳 ひらがな』学習研究社

- 3) 『ひらがなおけいこちょう』(4歳から入学まで)フォーラム・A
- 4) 『ひらがな おけいこ』(4・5・6歳)くもん出版
- 5) 『ただしくかく ひらがな上・下』(4・5・6歳)学習研究社
- 6) 『シールでおぼえる あいうえお』(4・5・6歳)サンリオ
- 7) 『5歳 ひらがな』学習研究社
- 8) 『やさしいひらがな 1集』(3・4・5歳)くもん出版
- 9) 『やさしいひらがな 2集』(3・4・5歳)くもん出版
- 10) 『はじめてかく ひらがな上・下』(3・4・5歳)学習研究社
- 11) 『アンパンマンのもじ・ことば』(3・4・5歳)フレール館
- 12) 『あいうえお はじめてのひらがな』(3・4・5歳)受験研究社
- 13) 『2歳 ひらがな』学習研究社
- 14) 『3歳からのおけいこノート ひらがな①』学習研究社
- 15) 『はじめておぼえる ひらがな』(2・3・4歳)永岡書店
- 16) 『やさしくまなべる ひらがな』(2・3・4歳)永岡書店
- 17) 『はじめてのひらがな 1集』(2・3・4歳)くもん出版
- 18) 『はじめてのひらがな 2集』(2・3・4歳)くもん出版